



2016SSH通信



「もうすぐ2年SSクラス研究発表会」特集号

Vol. 6 [2017.2.28]

©Spring is coming.

平成29年3月16日（木） 栃木県教育会館にて

2年SSクラス生徒による研究発表会が行われます。1, 2年生は全員参加です。宇都宮大学、獨協医科大学の指導教官の先生方、お茶の水女子大の今野先生、東大の窪川先生をはじめとした運営指導委員の先生方も参加されます。また、他校からも先生・生徒の皆さんが参加する予定です。

現在SSクラスの皆さんは、13のグループに分かれて発表の準備の最終段階にきています。

《日程》

*予定なので変更の場合もあります。

9:00 教育会館集合
9:30~14:45 発表
14:45~16:00 ポスター発表
(ロビー等にて)

発表する皆さんは、わかりやすく説明することに心を砕いてくれています。

発表を聞く側の皆さんも、新たなことを学べる楽しさと同時に、プレゼンの仕方の勉強にもなると思います。

質問も自由にできますので、

積極的に

参加しましょう◎ (Good manners も忘れずに!)

◎平成28年11月4日（金） スカイク交流にて

○2年SSクラス生徒（3名）が、**研究内容を英語にして発表**しました。

○1年生希望者（4名）が、自己紹介や文化などについて交流しました。

○2年国際交流部員（2名）が、タイ訪問の思い出などを語って交流しました。

ところが…アクシデント発生！スカイクがつながらず、急遽ALTケイト先生のスマホを使うことに…！



I took part in this project as an SS class member. I made a presentation of my study of Einstein's theory of relativity. The Thai students were active and gave me a lot of comments and questions. On the other hand, Japanese students seldom do that, do we? I felt their assertiveness and voice are just what we should acquire in high school in order to spread our wings and fly into the future. (2-1 R・O)

タイの高校生と日本の文化・タイの文化・将来の夢について会話をした。英語を使って会話する中で、自分の伝えたいことがなかなか伝わらないなどたくさん難しさがあった。しかし、お互いが同じタイミングで笑い合ったときには言語の壁を越えることができたと思い、嬉しかった。これからも国際交流に少しでも関わったらよいと思う。

(1-4 H・H)



◎3月の発表に先立ち、平成28年12月19日（月）13:00～16:50 明鏡寮ホールにて「中間発表会」が行われました。

《2年SSクラスの皆さん、中間発表を行ってどうでしたか？》



《ゼニゴケ班》

伝えたいことを簡単にわかりやすくまとめることがとても難しかった。（石綱）

《相対性理論班》

事前にトラブルがあったが、なんとか発表できた。説明が難しくなったのが反省点。（大島）

《エタノール燃料電池班》

大勢の人の前で緊張したが、自分たちの研究を知ってもらえよかった。（小野口）

《セルロース班》

スライドに合わせて話すことがとても難しく、もっとたくさん練習が必要だと実感。（武部）

《ミジンコ休眠卵班》

大学の先生たちの前で発表することに緊張して原稿に頼ってしまった。もっと練習が必要だと思った。（篠崎）

《色素分解班》

とても緊張した。放課後遅くまで残っての準備は大変だったが、貴重な経験ができた。（安達）

《ミジンコ生活環境班》

質問に答えることの難しさを実感。たくさんの助言をいただき、今後やるべきことをみつけることができた。（渡邊菜）

《振動反応班》

原稿をそのまま読んでしまうことが多く、準備の大切さを改めて感じた。（野崎）

《打楽器班》

改善点が多く見つかった。大学の先生からの質問で、研究に対する理解が浅いことに気づかされた。（渡邊す）

《水系微生物班》

大学の先生方での初発表で緊張したが、しっかりと伝えられた。やはり「プレゼン力」は大切。（渡邊結）

《オオカナダモ班》

スライドと合わせて説得力のあるプレゼンをするのは難しかった。研究を考え直すよい機会となった。（鈴木智）

《プラスミド班》

研究目的や内容を理解した上で発表に臨んだが、思わぬ実験の穴を指摘され、とても悔しかった。（西村）

3月発表に向けて…

テーマ	メンバー	3月の発表に向けて…
1 ゼニゴケ	石綱・岡本・斎藤	見つけた課題を含め、内容をより深くできるよう頑張りたい。
2 打楽器の物理	景山・星野・渡辺す	苦手と思われがちな物理のテーマをわかりやすく伝えたい。
3 ミジンコの生活環境	西井・原田・渡邊菜	すべての用語についてしっかり理解し、説明できるようにしたい。
4 相対性理論	大島	なるべくわかりやすく、視覚的に伝える方法を探していきたい。
5 色素分解と触媒	安達・大西・熊田・鈴木京	様々なアドバイスをもらって今後の課題がたくさんできたので、協力し合って時間を大切に研究したい。
6 プラスミドによる遺伝子の水平伝播	伊藤・田代・西村・橋本・服部	正確なデータを取るため、確認実験をきっちりと行いたい。
7 栃木県内の水系微生物調査	北澤・近澤・渡邊結	栃木の川にどんな菌がいるのか…。忙しい日々の中でも研究を楽しみ、頑張っていきたい。
8 ミジンコの休眠卵	小川・篠崎・中島	時間の関係でできなかった研究を、指摘されたところを注意して進めたい。
9 エタノール燃料電池をつくる	小野口・木村・町田	よりわかりやすく研究を理解してもらえるよう、練習を重ねていきたい。
10 セルロースの加水分解	武部・坪野・古瀬	研究動機や目的があまり明確でなかったのを改善し、よりわかりやすい発表にしたい。
11 ウォードの染色性に関する研究	大口・長谷川	さらに研究を深めていきたい。
12 振動反応	野崎・山下・横山	指摘されたことを含め、明らかにしたいことは決まっているので、引き続き追究したい。
13 オオカナダモの研究	鈴木智・松島・水野	研究動機・目的を明らかにするのが重要。より詳しく調べ、目的意識のはっきりした研究にしたい。

